



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和5年6月30日

(2023年度)

第4号

甲南第一小学校

『五感』を大切にする学習とバランスのとれた教育活動

本当に便利な時代になりました。必要な情報を必要な時に、そして瞬時に得ることができます。遠くに離れている仲間や知らない人たちともすぐにつながることができます。文章や絵さえもAIがかいてくれる時代になりました。また、仮想空間でこれまでできなかったようなことも体験できるようになってきました。学校においても、一人一台の端末(タブレット)の導入やICT機器の利用、SNSの活用などデジタルな教育が浸透し、これまでより便利に効率的に能率的に学習することができるようになってきました。

その反面、端末がいろいろなことをしてくれるようになり、自分で考えたり判断したりして学習する場面が減少してきているのが気がかりなところです。例えば漢字の学習。学習した漢字は、目的に合わせて使うことで習得されていくものです。端末の使い方によっては、子どもが考え判断することなく、端末が文章の流れに即してすべて自動で漢字変換してくれます。このように自分で考え判断して使うことが少なくなることで、実際に文章を書く場面の中で漢字が使えなくなってきているのではないかと考えています。加えて、端末の利用に重点を置きすぎることで、子どもたちが、学習の中で「本物」や「実物」に触れる機会が少なくなり、これまで「本物」や「実物」に触れることで養われてきた「五感」が鈍っていくことも心配されます。

今こそ、私たちは、この便利な時代の中に見つめ直さなければならない大切なものがあるのではないのでしょうか。特に、「五感」(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)を大切にする教育を見つめ直す必要があると考えます。「五感」を使うと、子どもたちの表現力や想像力が培われ、感性が豊かになると言われています。具体的には次の4つのメリットがあると考えられています。

一つ目のメリットは、自分の思いや考えを言葉・表情・絵などで表現する力が高まるということです。違う言い方をすれば、周囲の世界から取れ入れた情報と自分の持っている知識を合わせて自分の解釈で表現することが、表現の幅を広げてくれるということです。

二つ目のメリットは、もともと持っている危険を認知する力が研ぎ澄まされていくということです。例えば、古くなった食べ物は自然と口にしない、異臭がしたらその場を離れる、人間関係においても不穏な空気を感じたらトラブルを回避しようとする等の様々な危険に敏感になっていくということです。

三つ目のメリットは、目に見えないものを思い浮かべることが培われていくということです。感情を持って様々な情報を取り入れることで感性が豊かになっていきます。

そして、四つ目のメリット。「五感」を使うことを習慣にすると学習への効果も期待できるということです。脳への情報量も増加し、取り入れた情報の質も高く、長く記憶として留めることができます。

このように「五感」を使うことは、私たちには大切なことであることがお分かりいただけると思います。学校においても、今の便利さにだけにとらわれるのではなく、「本物」や「実物」に触れ「体験」や「実感」を重視した学習と端末やICT機器を活用した学習のバランスを考えながら、子どもたちにとって「確かな力」の身に付く教育を進めていきたいと思ひます。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也



創立122周年

7月1日に創立122年目を迎えます。これからも本校キャッチフレーズ「つながり 高め合う 学校づくり 心・技・体・絆」のもと、子どもたちの主体的な学びを大切にしながら第一小の歩みを着実に前に進めていきたいと思ひます。



プール開き

令和5年度の水泳学習がスタートしました。6月12日に全校放送でプール開きをし、水泳がうまくなる5つの「コツ」とうまくなるための3つの「約束」を子どもたちに伝えました。しっかり練習して、少しでも長い距離が泳げるようになってほしいと思ひます。

5月25日、教育後援会常任委員会が開催され令和5年度の役員様の選出と事業計画のご協議をいただきました。選出された役員の皆様は次の通りです。

会 長	山本 英雄 様
副 会 長	坂口 孝典 様
会 計	谷口 善仁 様
会計監査	宮下 誠司 様
会計監査	堀内 正男 様

毎年、多数の学区民の方々よりご賛同を頂戴し、本校教育へのご支援、ご援助をいただいております。改めて深くお礼を申し上げますとともに、子どもたちの教育に一層役立てていきます。

甲南第一小学校 教育後援会

ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに